

登録コード:MH505100 開講年度:2026		授業科目区分	学科共通専門科目	選択
科目名	国際医療協力論【20M～24M】 International Health Cooperation			
担当教員	五十嵐 久人			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	全専攻/1年 前期 月曜・1時限			
単位数、講義室	2単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		国際保健医療協力の仕組みを理解し、国際協力が抱える問題と、あるべき姿を理解することができる。	
	MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		国際保健医療協力の仕組みを理解し、国際協力が抱える問題と、あるべき姿を理解することができる。	
	MH23カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業			
科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		国際社会が共同して取り組むべき保健医療の主要課題を理解し、国際医療協力に必要な情報収集能力を身につける。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	保健医療の世界的課題とそれに対する国際協力のあり方を学ぶ。共通の基礎知識については講義で、また各専攻学生の興味が異なる部分はグループワークで学習する。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業は、2年次以降に学ぶ専門科目の基礎となるものです。 本授業は、担当教員の海外における医療従事者、研究者としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回（4月13日）オリエンテーション、国際協力に求められる人材 第2回（4月20日）保健医療の国際的問題 第3回（4月27日）国際協力のしくみと関連機関 第4回（5月 1日）子どもを取り巻く様々な課題 第5回（5月11日）開発と貧困 第6回（5月18日）災害と難民 第7回（5月25日）感染症の現状 第8回（6月 1日）国際協力の現状 第9-11回（6月8・15・22日）グループワーク：各領域の国際協力の現状と課題 第12-14回（6月29日、7月6・13日）グループワーク：国際協力の課題解決について 第15回（7月27日）グループワーク成果物の発表 まとめ 授業アンケート			
授業の進め方	・ 授業の第1回～8回までは、新カリキュラム対象学生（25M以降）と一種に行います。 ・ 第1回～7回は講義を行います。 ・ 第8～13回は、グループで調べ発表したいテーマ（保健分野中心に）を決定し、グループ作業を行います。 ・ 第14回は、グループが調べた内容をまとめた成果物を発表し、質疑応答を行います。 ・ 配付資料は事前にeALPSにアップするので、各自で持参して下さい。			
テキスト、教材、参考書	（参考書）適宜提示			
成績評価の方法	グループワークによる発表（発表内容、発表の方法などを総合する）50点、最終レポート50点で評価を行ないます。最終レポートの課題は授業中に提示します。			
成績評価の基準	グループワークによる発表とレポートは、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、「卓越している」秀。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」優。4項目までできていれば「やや上にある」良。3項目までできていれば「水準にある」可。 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良：79 - 70点 可：69 - 60点			
事前事後学習の内容	授業前に、資料をe-ALPSにUPするので、各自印刷または視聴できるように準備してください。 授業終了時に予復習のためのワークを提示する。次回の授業で回収するので、印刷して持参してください。 本授業の単位習得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）+自己学習60時間（4時間×15回）=90時間			
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	国際保健医療協力の導入としての授業。世界の現状を理解し、日本では見落としがちな健康を取り巻く様々な社会的要因に気づき、自分に何ができるか考えてください。			

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	この授業は特任教授の奥野ひろみ先生に担当してもらいますが、授業に関する質問や相談などについては、五十嵐までご連絡ください。 質問等への対応：五十嵐久人 <higaras@shinshu-u.ac.jp> オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 五十嵐久人研究室
-----------------------------------	---